

当行の あゆみ

明治11年 第百十四国立銀行として創業

当行は明治11年11月1日、紙幣発行の使命をもって114番目の国立銀行(内認可の順番)として第百十四国立銀行の名称で設立されました。設立以来、香川県経済の中心として長期間揺らぐことなく続いてきた伝統ある銀行であり、今では数少ないナンバーバンク*のひとつです。

※ 設立時の内認可の順番を銀行名として使用している銀行



創業当時の建物(明治20年頃)
三井淳生画「第百十四国立銀行盛業の図」



高松空襲で被災した当行旧本店
(昭和20年)



ATM第1号機を本店に設置

第百十四国立銀行として創業

私立銀行に転換し、
株式会社高松百十四銀行に改組

商号を株式会社百十四銀行に変更

1878年
明治11年

1898年
明治31年

1924年
大正13年

1945年
昭和20年

1948年
昭和23年

1966年
昭和41年

1973年
昭和48年

1980年
昭和55年

東京・大阪証券取引所
市場第一部に上場



旧本店
(大正15年)
高松銀行との合併により
株式会社高松百十四銀行を設立



本店を現在地(高松市亀井町)に新築、移転



四国創生に向けた包括連携(四国アライアンス)を
四国の地方銀行4行間で締結

シンガポール駐在員事務所開設

上海駐在員事務所開設

2005年
平成17年

2007年
平成19年

2013年
平成25年

2016年
平成28年

2017年
平成29年

2018年
平成30年

2019年
令和元年

2020年
令和2年



地銀共同化システム稼動

監査等委員会設置会社へ移行

四国アライアンス4行共同出資による
ファンド運営会社「四国アライ
アンスキャピタル株式会社」設立

「百十四銀行SDGs宣言」公表

四国アライアンス4行共同出資による
地域商社「Shikokuブランド
株式会社」設立

新中期経営計画(2020年4月~2023年3月)スタート



~ステークホルダーが笑顔で過ごせる持続可能な未来の共創に挑む~

1872年
国立銀行条例
公布

1882年
日本銀行条例により
日本銀行創立

1929年
世界恐慌
1941年
太平洋戦争

1964年
東京オリンピック

1970年
日本万国博覧会

1973年
第一次オイルショック

1979年
第二次オイルショック

1985年
プラザ合意

1988年
瀬戸大橋開通

1991年
バブル崩壊

2005年
ペイオフ全面解禁
2008年
リーマンショック

2013年
日本銀行が「量的・質的金融緩和」導入

2016年
日本銀行がマイナス金利政策導入

2020年
新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の世界的流行